

国際シンポジウム

「世界の廃棄物処理」

～埋立処分の役割と課題～

日時

平成29年 11/28 火 13:00
～16:10定員
300名

場所

公立鳥取環境大学 大講義室（11講義室）
〒689-1111 鳥取市若葉台北一丁目1番1号参加費
無料

主催：公立鳥取環境大学

後援：鳥取県、鳥取市、鳥取県東部広域行政管理組合、(公財) 廃棄物・3R 研究財団

世界の廃棄物の大半はそのまま埋立処分されており、埋立処分場は廃棄物処理には必要不可欠の重要な役割を果たしています。しかしながら処分場が整備されても、すぐに廃棄物で満杯になり、新たな処分場を継続的に確保しなければなりません。しかしそれはどこでも困難になってきています。また埋立処分場からの浸出水の管理が長期間にわたって続くとともに、最終処分場からのメタンガスは地球温暖化ガスであるため、廃棄物の埋立処分は回避すべしとの声も大きくなってきています。

こうした背景のもと、廃棄物の埋立処分の役割と課題を明らかにするために、今年度はイタリアの廃棄物埋立の専門家からは「イタリアにおける廃棄物処理と埋立処分の役割と課題」について講演いただきます。続くパネルディスカッションでは、「埋立処分場からの温室効果ガス」、「焼却残渣を用いた温暖化対策」、「埋立跡地の再利用」、「ゼネコンの廃棄物マネジメント」などについて、パネラーから報告いただくとともに、皆さんと廃棄物の埋立処分の役割や課題について議論したいと思います。

13:00▶13:05 開会挨拶・総司会

公立鳥取環境大学サステナビリティ研究所 所長 岡崎 誠

13:05▶13:20 ミニ講義 「廃棄物処理と埋立処分」

公立鳥取環境大学 客員教授 田中 勝

13:20▶14:20 (1)特別講演 「イタリアにおける廃棄物処理と埋立処分の役割と課題」

パドヴァ大学産業工学部 准教授 Roberto Raga(ロベルト ラガ)氏

14:20▶14:30 (2)質疑応答

休 憩

14:40▶16:10 (3)パネルディスカッション 「埋立処分の役割と課題」

・話題提供

①「埋立処分場からの温室効果ガスと埋立跡地の再利用」

福岡大学 環境保全センター 助教 平田 修氏

②「焼却残渣を用いた温暖化対策」

公立鳥取環境大学 准教授 金 相烈(キム サンヨル)

③「ゼネコンの廃棄物マネジメント」

鹿島建設株式会社 安全環境部 担当部長 米谷 秀子氏

コーディネーター：公立鳥取環境大学 客員教授 田中 勝 パネリスト：上記講師



公立鳥取環境大学

Tottori University of Environmental Studies

〒689-1111 鳥取市若葉台北一丁目1番1号

お問合せ先

公立鳥取環境大学サステナビリティ研究所

TEL: 0857-32-9100 FAX: 0857-32-9101

E-mail: kikaku@kankyo-u.ac.jp

申込方法

事前申込みが必要です。詳しくは裏面をご覧ください。

参加申込書

ご参加を希望される方は、メール、電話、FAXいずれかにて「公立鳥取環境大学サステナビリティ研究所」まで、お申し込みをお願いいたします。

参加費無料

定員 **300** 名

公立鳥取環境大学 サステナビリティ研究所

TEL 0857-32-9100

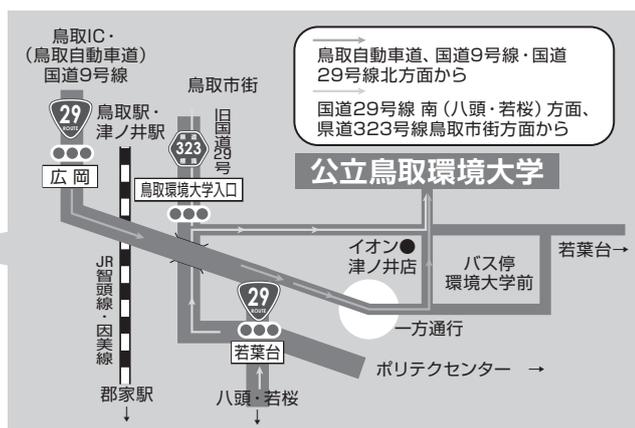
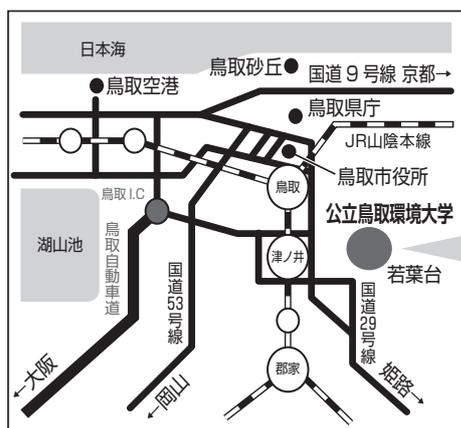
FAX 0857-32-9101

E-mail kikaku@kankyo-u.ac.jp

(担当) 小澤 山本

申込締切：平成29年11月22日(水)

フリガナ	
氏名 (代表者名)	
所属	
電話/FAX番号	
E-mail	
上記以外の参加者氏名	
氏名1	
氏名2	
氏名3	
氏名4	
氏名5	



〈交通アクセス〉 ●鳥取駅からバスで約20分 ●鳥取空港から車で約30分 ●津ノ井駅から徒歩約20分